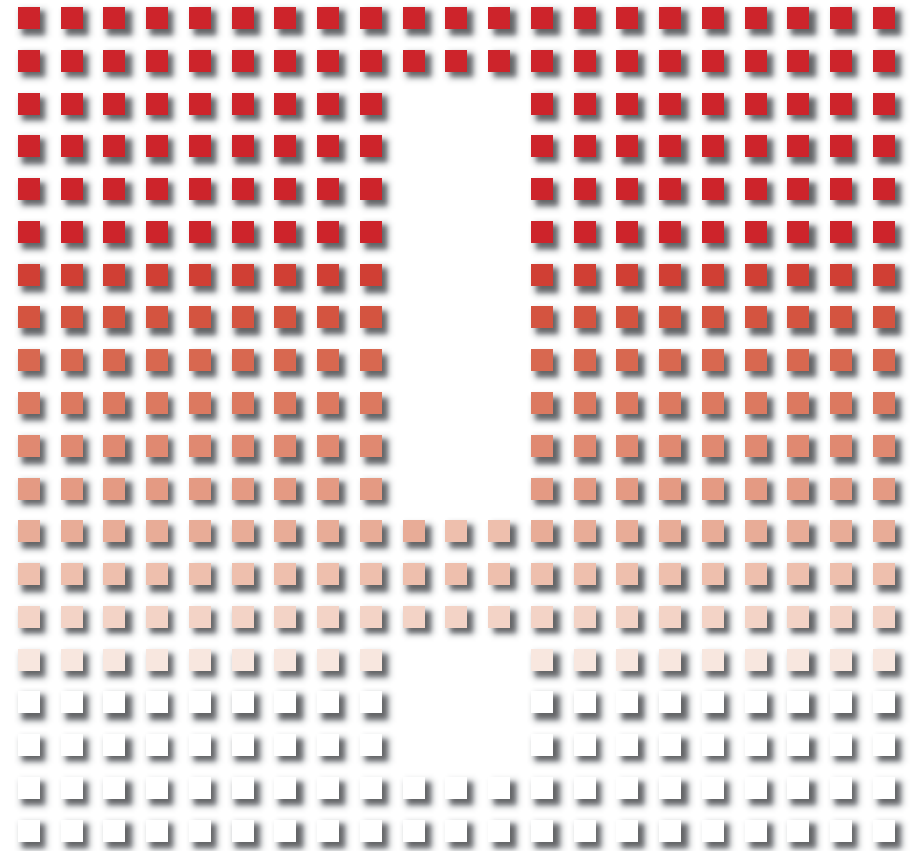


防災・リスクマネジメント研究室のご案内



お問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

防災・リスクマネジメント研究室 室長 中尾 健良

東京 公共経営・地域政策部 中井、国友、大垣 TEL：03-6733-1022

名古屋 研究開発部 筒井、岩田（賢） TEL：052-307-1103

大阪 研究開発第1部 平野、高松、島崎 TEL：06-7637-1460

ごあいさつ

平素より三菱UFJリサーチ&コンサルティングへ格別の御愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たち、防災・リスクマネジメント研究室は、防災・減災、国土強靱化に関する、「ひとづくり」、「まちづくり」、「仕組みづくり」に関する研究活動に取り組むチームです。

東京、名古屋、大阪の3都市圏に活動拠点を置く私たちは、東日本大震災や阪神・淡路大震災、東海豪雨といった未曾有の大規模災害で得られた教訓を、未来のまちづくり・ひとづくりへと、しっかりと繋げていくことを重要なミッションと考えています。

先般の東日本大震災がもたらした想定外の大被害は、多くの国民に自然災害の怖さを目の当たりにさせることとなりました。大規模災害時には行政機能が大きく低下するなかで、地域の総合力で対処する重要性があらためてクローズアップされました。

防災・減災、国土強靱化が重要な価値観として認識される現在、われわれは平時から防災・減災を強く意識し、具体的な行動を継続して積み重ねていく必要があると感じます。そして、成功の鍵は、自助、公助の強化に加え、無限の可能性を秘めた共助の仕組みづくりにこそあると考えます。

われわれは、官公庁や民間企業などのお客様をはじめ、市民団体、研究機関など、多くの方々とともに安心して安全なづくりに、まちづくりを考え、その実現に向けて挑戦していきたく考えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

活動コンセプト



災害教訓の継承

—災害教訓の継承、そして文化・伝統へ—

東日本大震災では、過去の教訓が多くの人命を救いました。われわれが研究活動で得た教訓を次代のまちづくり、ひとづくりに反映していくこと、この積み重ねが大切と考えます。教訓の継承から、文化・伝統へ、われわれが防災・減災を考える原点です。



防災・減災デザイン

—確固たる自助、公助、そして無限の可能性を秘めた共助の力を最大限に引き出す—

行政だけでなく、団体、企業、市民など多くのプレーヤーが災害時に総合力を発揮するには、平時からの備えが重要と考えます。われわれは、多様な主体のパートナーシップを念頭に置き、地域の力を最大限に発揮する防災・減災の処方箋をデザインします。



防災・減災アクティビティ

—計画から、マネジメントへ、そして平時の行動へ—

防災計画、業務継続計画（BCP）、行動マニュアル等も実際に運用されなければその価値を発揮できません。計画を推進・更新するマネジメントの仕組みづくりを進め、計画の実効性を高めるための訓練、研修など、平時から行動レベルに落とし込んだ取り組みを継続していくことが重要です。



Overview of the project

事業概要

Inheritance 災害教訓の継承

受託実績

- ・大規模災害復興事業検証業務
- ・大規模災害インパクト分析
- ・災害教訓の伝承に関する職員研修
- ・復興支援

等、多数

自主研究・情報発信

- ・「震災復興支援プロジェクト(BEYOND0311)～教訓を未来に～」
気仙沼市震災復興計画策定支援及びフォローアップ(2011～2014年度)
- ・阪神・淡路大震災20年シンポジウム(2014年度)
～阪神・神戸のみらい「ひと」・「まち」・「産業」～
- ・阪神・淡路大震災20年特別企画セミナー(2014年度)
～自治体の災害対応の経験・教訓を「伝える」「育む」～
- ・災害教訓伝承プロジェクト「葺屋SHINE」葺屋市共同研究(2014年度)
- ・季刊 政策・経営研究
(特集) 阪神・淡路大震災から20年、われわれが学んだこと
<http://www.murc.jp/thinktank/rc/journal/quarterly/201501>
- ・物流問題研究62号 基礎自治体における緊急物資輸送の運営実態(宮城県気仙沼市の事例)

Design&Planning 防災・減災デザイン

受託実績

- ・防災計画・マニュアル策定支援
- ・業務継続計画(BCP)策定支援
- ・防災拠点整備計画策定支援
- ・災害時要配慮者支援に関する検討
- ・災害時物資輸送・サプライチェーン構築に関する検討
- ・災害廃棄物処理方策の検討
- ・災害に備えた住宅対策・まちづくりの検討
- ・被災者の生活再建支援方策の検討
- ・災害に備えたグリーンインフラ活用策の検討

等、多数

自主研究・情報発信

- ・企業BCPセミナー(2011、2012年度)
- ・巨大地震対策シンポジウム(2015年度)
首都直下地震・南海トラフ巨大地震にどう備えるか
～東日本大震災の教訓にみる官民連携によるレジリエンス向上の可能性～

Development&Education 防災・減災アクティビティ

受託実績

- ・防災訓練の支援
- ・防災ワークショップの運営支援
- ・避難訓練の実施支援
- ・災害時物資輸送訓練の実施支援
- ・帰宅困難者対策・避難訓練の実施支援
- ・災害時のコミュニケーション・デザイン
- ・復興事業の推進に係るコンサルティング
- ・防災教育・意識啓発

等、多数

自主研究・情報発信

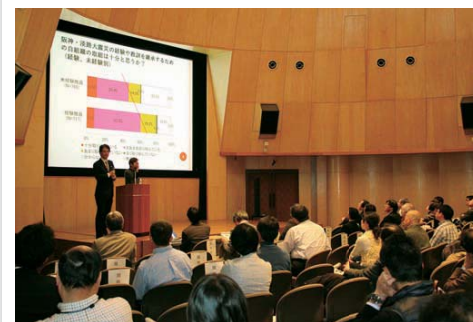
- ・地域防災講演会(2013年度)
～被災地に学ぶ、事業継続と企業市民が果たす役割～
- ・地域防災セミナー(2015年度)
災害時要援護者対策のあり方を考える ～排除のない防災をめざして～



研修風景



緊急物資輸送訓練風景



シンポジウム風景

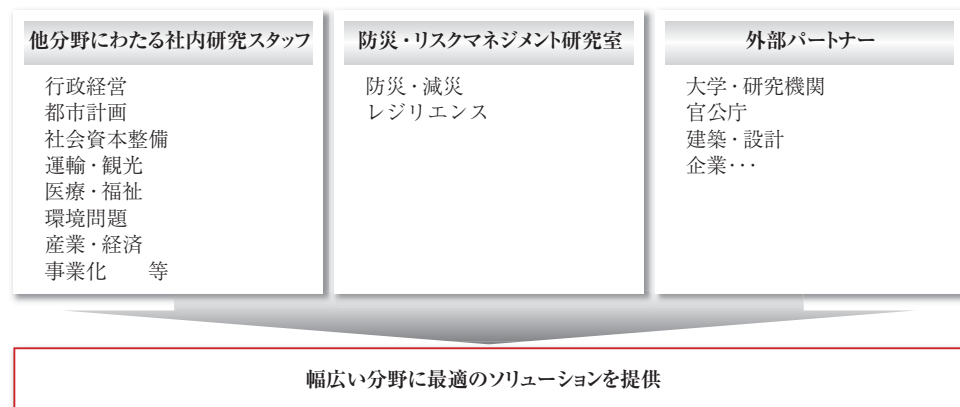


シンポジウム風景

Research activities

研究体制における総合力の発揮

防災・リスクマネジメント研究室は、研究テーマに応じ、総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティングが有する他分野にわたる研究スタッフに加えて、東京・名古屋・大阪の様々な外部パートナーたちとクロス・オーバーする研究体制を構築することで、幅広い研究テーマに対して最適なソリューションを提供します。



自主研究・情報発信

防災・リスクマネジメント研究室は、これまでも多くの自治体や研究機関との間で共同研究を行い、また、公開セミナー・シンポジウムなども積極的に開催して参りました。

今後も、こうした自主活動に継続して取り組み、受託調査・コンサルティングサービスの品質を高めていくだけでなく、防災・減災に関する政策提言や社会発信を行っていきたいと考えます。

Company profile&History

会社概要

商号	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
本社所在地	東京都港区虎ノ門5丁目11番2号
	代表取締役社長 村林 聡
資本金	20億6千万円
営業所一覧	本 社 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 TEL 03-6733-1020 FAX 03-6733-1028 名古屋 〒461-8516 名古屋市東区葵1-19-30 TEL 052-307-1110 FAX 052-307-1126 大 阪 〒530-8213 大阪市北区梅田2-5-25 TEL 06-7637-1500 FAX 06-7637-1501
従業員数	約750名
主要株主	三菱東京UFJ銀行、三菱UFJキャピタル、三菱UFJファクター
事業内容	コンサルティング事業、国際事業、政策研究事業、人材開発事業、会員事業、マクロ経済調査
受注先（政策研究事業）	内閣府、国土交通省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、外務省 総務省、財務省、環境省及び特殊法人、独立行政法人等 地方公共団体及び外郭団体 アジア各国政府及び企業
取引銀行	三菱東京UFJ銀行

沿革

昭和60年10月	株式会社三和総合研究所を設立
平成14年4月	株式会社東海総合研究所と合併、社名を株式会社UFJ総合研究所に変更
平成18年1月	ダイヤモンドビジネスコンサルティング株式会社、株式会社東京リサーチインターナショナルと合併、社名を三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に変更